

日本観光振興協会は、本年度新たに『DMO推進室』 を設立し、日本版DMOの形成支援に取り組みます。

公益社団法人 日本観光振興協会（本部：東京都港区 会長 山口 範雄）は、本年度新たに『DMO推進室』を設立いたします。

地方創生において、観光地域づくりの中核組織となる“日本版DMO”が大きな役割を担う中、平成27年11月より観光庁において日本版DMOの登録が開始され、平成28年3月には地方創生加速化交付金対象事業が決定するなど、各地域で“日本版DMO”に対する関心が高まっており、当協会にも普及啓発から形成支援まで多種多様な問い合わせが寄せられています。

当協会では、DMOについて永年調査・研究を実施し、知見の蓄積やシンポジウム等の開催を通じてDMO理念の普及啓発に努めてきました。そこでこの4月より『DMO推進室』を設立し、DMOの地域への「形成・導入」といった実践に向けて、地域の自治体、観光協会、観光業界からの日本版DMOに関する各種照会・要望などにワンストップで対応していきます。

なお、日本観光振興協会では、同じく4月より設立する『日本観光振興アカデミー』と合わせて、日本版DMOに必要な専門人材育成を図ります。

（日本観光振興アカデミー：別途リリースあり）

具体的な事業について

○日本版DMO普及啓発活動

引き続き、普及啓発に向けたシンポジウム・セミナー等を開催します。

○研修事業：「観光地域づくり研修なび」

日本版DMO推進に係わる新たな研修メニューを「観光地域づくり研修なび」を通じて提示し、公募により地域において開催します。

○専門人材育成研修

日本版DMO形成に必須の専門人材育成に向けて、必要な研修カリキュラムを策定し、集合教育を実施します。

○専用サイト【DMOなび】 <http://www.nihon-kankou.or.jp/home/dmo>

日本版DMOに関する一元的な情報の発信・提供を行います。

○調査研究

日本版DMO推進に係わる動向調査を実施します。